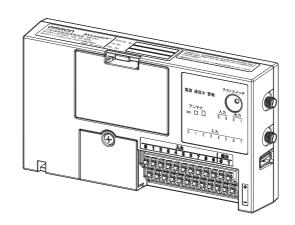
小型遠隔監視通報装置

AMT300/FMT300 設置マニュアル



本機を正しく安全に設置、ご使用いただくため、設置前に必ず本書をよくお読みください。



目 次

1.	ご使用に際してのお知らせとお願い	2
	安全上のご注意とお願い	
3.	梱包内容	5
4.	各部の名称とはたらき	6
5.	設置・接続方法	8
6.	入出力回路について	15
7.	環境センサについて	17
8.	廃棄方法と電池のリサイクル	18
	よくある質問 (FAQ)	
10.	保証とアフターサービス	20
11.	主な仕様	21
12.	お問い合わせ先	23

■ 1. ご使用に際してのお知らせとお願い

・ 本機には、電気通信事業法第56条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定 を受けた以下の設備が組み込まれています。

機器名称: LARA-R220、認定番号: D170130003

・ 本機には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第11号の19に規 定される以下の設備が組み込まれています。

機器名称: LARA-R220、工事設計認証番号: 003-170219

- ・ 次に示すような条件や環境で使用する場合は、定格、機能に対して余裕を持った使い かたや、フェイルセーフなどの安全対策へご配慮いただくとともに、当社営業担当に 相談くださるようお願いいたします。
 - (1) 本書に記載のない条件や環境での使用。
 - (2) 原子力制御、鉄道、航空機、自動車、燃料装置、医療機器、娯楽機械、安全機器などへの使用。
 - (3) 人命や財産に大きな影響が予想され、特に安全性が要求される用途への使用。
- ・ 本機はLTE回線を利用した通報装置です。
 - (1) 回線トラブル、電波障害、迷惑メール対策等により通報できなくても、当社では責任を負いかねます。また、通報先を携帯電話に設定した場合、通報先電話が圏外または電源が入っていない場合、通報されない場合がありますが、当社では責任を負いかねます。
 - (2) 医療機器や高精度な制御や微弱な電波を取り扱う製品の近くで使用すると、故障や誤動作を誘発する原因となる恐れがありますので、そのような場所では使用しないでください。
 - (3) 航空機内や病院などの使用を禁止された区域では使用しないでください。航空機内での使用など、禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。
- 本機は火災、侵入、各種異常を防止する装置ではありません。万一、事故や障害が発生しても当社では責任を負いかねます。
- 本機は消火や各種設備の制御・通報装置ではありません。消火、防犯、救命などの一刻を争う装置の制御・通報には使用しないでください。
- 本機の配線作業には電気丁事十の資格が必要です。
- 本機には電源スイッチが設けられていませんので、本機を設置するためには、本機へ 給電する屋内配線に、本機への電源供給を遮断できるスイッチ等が設けられている必要があります。
- ・本体背面には、機器取付用のマグネットが装着されています。電子機器、磁気カードなど磁気に影響を受けるものを近づけないでください。
- 本機は日本国内専用です。海外での使用はできません。
 This product is marketed only in Japan, the use outside of Japan is not guaranteed.

■||2. 安全上のご注意とお願い

■ 安全確保のための警告表示

本機を安全にご使用いただくために、注意事項を次のような図記号と共に取扱上の注意点を記載しています。注意事項は安全に対する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告図記号とその意味

⚠警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重症を負う可能性が想定 される内容を示しています。
<u> </u>	誤った取り扱いをすると人が軽傷を負ったり、物的損害を受ける 可能性が想定される内容を示しています。

一般注意図記号とその意味

\bigcirc	してはいけない「禁止」を意味しています。
0	必ず実行していていただく「強制」を意味しています。
•	「アース線の接続が必ず必要」であることを意味しています。
	「分解禁止」を意味しています。

■ 使用上のご注意



D種接地(第3種接地)など適切な接地がなされている電源を使用する。 接地不良は感電や故障の原因になります。	
必ず電源を切った状態で配線する。 感電や故障の原因になります。	0
端子や配線を濡れた手で触らない。 感電の原因になります。	0
分解や改造をしない。 感電や火災、故障の原因になります。	3
停電通報用内部電池は以下のような取扱いをしない。 液漏れ、破裂、発熱、発火により、火傷やけがの原因になります。 ・ショート(短絡)させない。濡らさない。 ・釘差し、加圧変形、強い衝撃を与えない。 ・分解、改造、直接ハンダ付けしない。 ・火中に投入しない。	\Diamond

■ 2. 安全上のご注意とお願い (つづき)

注意

本機内部に金属類、液体類や紙類などの燃えやすいもの、異物を入れない。 回路ショートにより、誤動作や故障、感電の原因になります。	0
通電中は手やドライバー等の工具で端子に触れない。 感電の原因になります。	\Diamond
停電通報用内部電池の取扱いについては以下を守る。 ・変形(ふくれ)、液漏れ、異臭、発熱等今までと異なることに気づいたときは、使用を中止する。 ・主電源が入った状態で電池交換しない。 電池の液が目に入った場合は、失明の恐れがあるので、直ちにきれいな水で十分洗い流した後、医師の治療を受けてください。 また、皮膚や衣服についたときは、皮膚に傷害をおこす可能性があるので、直ちにきれいな水で洗い流してください。	0

■ 取り扱い上のお願い

- ●端子番号、極性を確認し、正しく配線してください。誤って配線すると内部の部品 破壊、焼損の原因になります。
- ●入力端子に接続する機器は、電圧、電流仕様を守ってください。仕様外の機器の接続は故障、誤動作の原因になります。
- ●仕様の範囲内の温度、湿度で使用、保管してください。
- ●次のような環境では使用しないでください。
 - 静電気やノイズを受けるところ
 - ・水やほこりの入るところ
 - 引火性ガス、腐食性ガス(CI2、H2S、NH3、SO2、NOx等)のあるところ
 - 発熱する機器の近く
 - 直射日光が当たるところ
- ●設置にあたっては電波状況を確認ください。
- ●出力端子に接続する負荷は、定格内で使用してください。
- ●電源電圧は、仕様の範囲内で使用してください。
- ●電源端子、アンテナ端子のねじは確実に締め付けてください。ねじが緩むと故障、 誤動作の原因となります。
- ●清掃時にベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。汚れが気に なる場合は水を含ませた柔らかい布をよく絞ってから拭いてください。
- ●本機を廃棄する場合は、各地方自治体の規定に従ってください。

■ 停電通報用内部電池について

- ●電池には寿命が有ります(目安は2年ですが、使用条件により大幅に異なります)。 定期点検時(2か月に1回程度)に停電通報ができることを確認してください。できなかった場合は、新品の電池(専用品)と交換してください。
- ●電池交換は、必ず本機の電源を切った状態(ACプラグを抜くか給電元ブレーカーを OFFにした状態)で行ってください。
- ●長期間使用しない場合は、電池を取り外し、高温多湿を避けて涼しい場所で保管してください。使用していない製品に長期間接続したままにすると、電池が過放電状態となり電池寿命が短くなります。保管時の電池は6か月に1度充電を行ってください。
- ●電池の温度が-10℃未満、55℃以上になると充電されません。充電停止後は、0℃以上、45℃以下になると充電が再開されます。
- 停電復帰後、電池が満充電になる前に再停電した場合は、停電通報が行えない場合があります。
- ●交換用の停電通報用内部電池のお求めの際は、「お問い合わせ先」(**⇒P.23**参照)までご連絡ください。

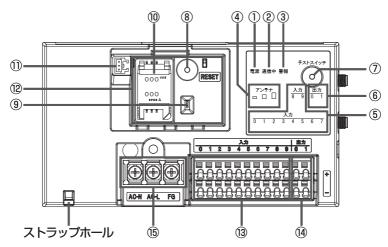
■ 3. 梱包内容

箱の中には下記のものが同梱されていますのでご確認ください。 不足品、不良品がある場合は「お問い合わせ先」(⇒P.23参照)にご連絡ください。

□ AMT300またはFMT300本体 ···································	1台
(アンテナ端子キャップ、USBコネクタキャップ付)	
□ ポールアンテナ	1本
□ 停電通報用内部電池 (形式: BAT-NOO2) ···································	1個
□ 設置マニュアル (本書)	1∰
□ IIMカード (IC部分は取り外して木機に塔載済)	1 枚

接続ケーブルや圧着端子等の配線部材は同梱されていませんので、必要に応じて別途で用意ください。

■||4. 各部の名称とはたらき



本体正面(カバーを外した状態)

【ランプ表示】

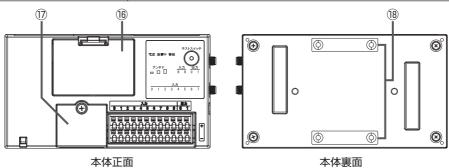
			·
名称	表示(色)		状態
①電源ランプ	_	消灯	電源が入っていません。または停電動作中です。
	緑	点灯	電源が入っています。
②通信中ランプ	青	点滅	センターと通信中です。
		点灯	センターと接続が完了しました。
③警報ランプ	_	消灯	異常ありません。
	赤	点灯	警報発生中です。
④アンテナランプ	緑	点灯	電波強度を3段階で表示します。 (2本以下のときは正常に通信できない可能性があります。) テスト通報ができない場合は、外部アンテナを使用してください。
⑤入力ランプ	_	消灯	外部入力設定がOFFになっています。
	% 1	点灯	外部入力設定がONになっています。
⑥出力ランプ	_	消灯	外部出力設定がOFFになっています。
	紫	点灯	外部出力設定がONになっています。

(※1) 非絶縁デジタル信号は緑色、絶縁デジタル信号は水色、アナログ信号は青色で点灯します。

【スイッチ】

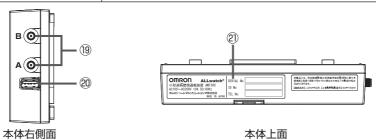
名称	説明
⑦テストスイッチ	サーバへの接続テストを行う際にペン先などで押します。 (通報メールを送信します) 通信をランプの点灯で確認します。
⑧リセットスイッチ	リセット時にペン先などで押します。
⑨検査スイッチ	製品検査に使用します。(お客様が使用することはありません。)

名称	説明
⑩UIM カードコネクタ	UIMカードを挿入します。(出荷時は挿入済です)
①電池コネクタ	停電通報用内部電池のリードコネクタを接続します。
⑫電池収納部	停電通報用内部電池を収納します。
⑬入力端子	信号ケーブルで外部機器と接続します。 (O、1CH: アナログ/非絶縁デジタル信号共用) 2~7CH: 非絶縁デジタル信号専用 8、9CH: 絶縁デジタル信号専用
⑭出力端子	信号ケーブルで外部機器と接続します。
15電源端子	電源ケーブルを接続します。



(カバーを付けた状態)

名称	説明
16電池カバー	スイッチや電池収納部のカバーです。
⑪端子台カバー	電源端子の活電部を保護します。
⑱取付用マグネット	本体を壁面に取り付けるためのマグネットです。



名称	説明
⑲アンテナ端子	Aに付属品のポールアンテナを接続します。 受信状態が悪い場合は、オプション品の外部アンテナを接続します。 (Aは送受信用、Bは受信用です)
⊘USB コネクタ	環境センサ(別売)を接続します。
②製品ラベル	お問い合わせの際に必要な情報(ID番号、シリアル番号)が 記載されています。

■||5. 設置・接続方法

■ 設置手順

● 設置場所へ行く前に通報メールの送信先を設定する

インターネットでM2Mセンタにログインして、通報メールに関する設定作業が必要です。通報メールの設定方法については、M2MセンサーネットのホームページからM2Mセンタにログインし、M2Mセンサーネットマニュアルをダウンロードして参照してください。

設定の際は、通報先設定画面で携帯電話等のメールアドレスを入力し、「テストSW」または「システムイベント」欄にチェックを入れ、[設定]ボタンをクリックしてください。

その他のM2Mセンタ設定は、設置前、設置後のどちらに設定してもかまいません。

● 入力機器、出力機器の接続に際しては、回路図を確認する

「6.入出力回路について」(**⇒P.15、16**参照)を参考にして入出力機器を接続してください。

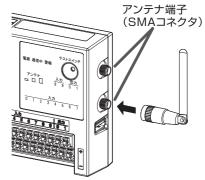
設置は次の手順で行います。



■ アンテナを接続する

本機に付属のポールアンテナをアンテナ端子のA (⇒P.7参照) に接続します。 本機を金属筐体内へ設置する場合など、電波状況の悪い場合は電波状況の良い場所に 設置した外部アンテナからのケーブルをアンテナ端子のAに接続してください。アン テナは2本接続できます。

- アンテナ端子のねじは手でしっかりと締め付けてください。
- ・設置スペースに余裕がある場合に は、本体取付後に接続することも 可能です。

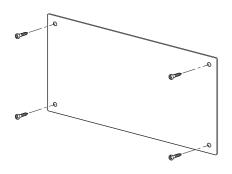


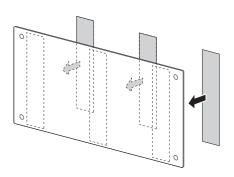
2 本体を取り付ける

本体裏面のマグネットにより、壁面に吸着固定します。 取付面(壁面)が非磁性体の場合は、オプション品の取付プレートを予め壁面にねじ止め、またはテーブ止めし、取付プレートに本機を吸着固定します。

【取付プレートの固定(取付面が非磁性体の場合のみ)】

壁面が木材の場合は、木ねじ(4本)で壁面に固定します。(木材以外の壁面にねじ止めする場合は、壁面の材質に合ったねじを使用してください。) 壁面が平滑で両面テープが貼り付く材質の場合は、両面テープを使用して壁面に貼り付けてください。



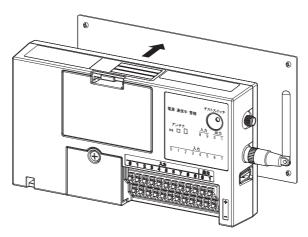


■||5. 設置・接続方法 (つづき)

【本体の固定】

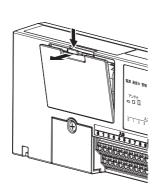
壁面に直接(壁面が鋼板等の磁性体の場合)、または壁面に取り付けた取付プレートに吸着固定します。

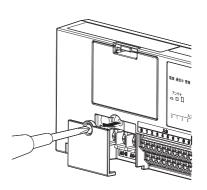
取付プレート上に固定する場合は、プレート外形に本機外形を合わせてください。



3 端子台カバー、電池カバーを外す

電池カバー、端子台カバーを取り外します。





ご注意 -

・端子台カバーは安全上必要な部品ですので、紛失しないようにご注意ください。 〈使用ドライバー〉

・(+)2番ビット

4 入力端子、出力端子に信号ケーブルを接続する

プッシュイン方式のコネクタです。 電線を突き当たるまで挿入します。撚り線使用時 はリリースボタンを押しながら挿入します。 電線取り外し時はリリースボタンを押しながら引 き抜きます。

〈使用可能なケーブル〉単線の場合

 $\cdot \Phi 0.65 \sim \Phi 1.6 \text{mm} (AWG22 \sim 14)$

〈ケーブルの被覆剥き代〉

· 9~10mm

〈撚線用フェルール(スリーブ)について〉

- ・撚線を使用する場合は電線のバラケを防止し、電気的接続の品質を安定させるために絶縁カバー付きのフェルールのご使用をお勧めします。
- ・使用するフェルールサイズに適応した工具で適切に圧着してください。
- 〈リリースボタン押下用推奨適用工具〉
 - ·(-)ドライバー(軸径Φ5mm、刃先幅4.5mm) ※ボタンを押し込めるものなら何でも可

「子」停電通報用内部電池を接続し、電池カバーを取り付ける

付属の停電通報用内部電池を本機の電池収納部に入れ、 ケーブルコネクタを電池コネクタに接続します。

電池取り外し時は←部を押しながら ケーブルコネクタを外します。



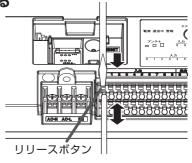
接続完了後に電池ケーブルを挟み込まないように注意して 電池カバーを取り付けます。



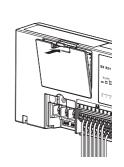
- ・電池を接続せずに機器に電源が供給された場合、電池なし異常通報メールが送信されます。(この状態で通常動作はしますが、停電通報はできません)
- ・停電通報をするためには、電池を接 続後24時間以上の充電が必要です。



・必ず専用の停電通報用内部電池を で使用ください。専用電池以外は 使用できません。



ケーブルコネクタ



■||5. 設置・接続方法 (つづき)

[] 電源ケーブルを接続し、端子台カバーを取り付ける

電源端子は、M4ねじ端子台です。 オプション品の電源ケーブルを使用する場合は、ACプラグ反対側の丸形端子の黒線をAC-L、白線をAC-N、緑線をFG端子にねじ止めし、ACプラグ側のアース端子をD種接地されたGND端子にねじ止めします。

汎用ケーブルを使用する場合は、供給側の屋内配線の遮断スイッチがOFF(遮断状態)になっていることを確認した後、配線作業をしてください。接続完了後に端子台カバーを取り付けます。

〈使用可能な電源ケーブル〉

- · AWG18~16 (0.75~1.25 mm²) 〈使用ドライバー〉
 - ・(+)2番ビット

〈ねじの推奨締め付けトルク〉

- ·端子台: 1.2N·m
- ·端子台カバー: 0.6 N·m

⚠警告

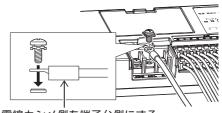


配線作業中はACプラグをコンセントから抜いておく。または、給電元ブレーカーをOFFにする。活電作業は感電の原因になります。

一名電子業は恐竜の原因になりより。 配線完了後は必ず端子台カバーを

0

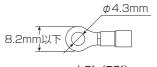
取り付ける。 端子台カバーがないと感電の原因 になります。



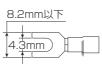
電線カシメ側を端子台側にする

<圧着端子>

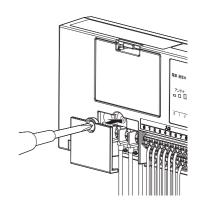
汎用ケーブルに圧着端子を使用する場合は、 下記仕様の絶縁被覆付き端子をお使いください。



丸形(R形)



先開形 (Y形)



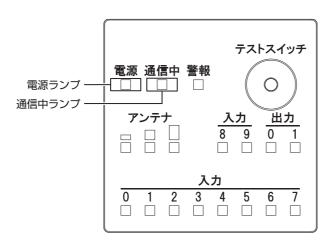
7 電源を入れる

オプション品の電源ケーブルを使用した場合は、ACプラグをコンセントに差し込み、本機前面のランプの動作を確認します。

汎用の電源ケーブルを使用して配線した場合は、供給側の屋内配線の遮断スイッチをON(通電状態)にします。

(注) すべての配線が完了するまで、通電しないでください。

本体前面の次のランプが点灯/点滅します。



電源を入れる	電源ランプが「点灯」
センターと通信中	通信中ランプが「点滅」
センターとの通信正常	通信中ランプが「点灯」

日 テストスイッチを押す

通信中ランプが点灯した後に、テストスイッチを押すと、即時に通報メールが送信されます。

本機の入力状態を携帯メールまたはセンタ画面で確認します。

- ・テストスイッチを押すとM2Mセンタに登録したメールアドレスにテスト通報メールが送信されます。
- ・M2Mセンタ画面にて接続センサのデータ計測が可能であることを確認してください。
- 詳しくはホームページからマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

■ 15. 設置・接続方法 (つづき)

9 ケーブル類をクランプする

配線、テスト送信完了後、ケーブル類を適宜クランプします。

- ・本機の端子部に機械的負荷がかからないようにケーブルを処理してください。
- ・ケーブル長に余裕を持たせてクランプしてください。
- ・ストラップホールを使用する場合は、幅3.5mm以下の結束バンドをご使用ください。

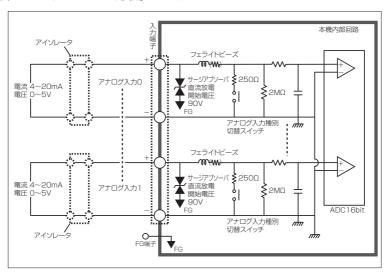
■||6. 入出力回路について

■ 入力回路

汎用入力機器を接続する場合は、下記の回路図を参考にしてください。

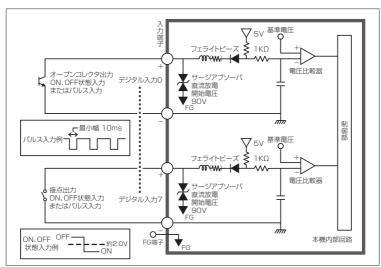
●アナログ入力

各入力端子のGNDは、内部回路にて共通化されています。したがって、出力側の機器が+側で共通となっている場合は、接続できません。このような機器と接続する場合は、アイソレータを使用してください。



●デジタル入力 (GND 非絶縁)

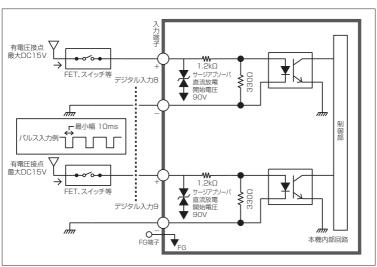
各入力端子のGNDは、内部回路にて共通化されています。



■||6. 入出力回路について (つづき)

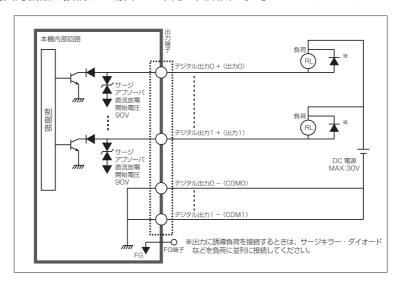
● デジタル入力 (GND 絶縁)

各入力端子のGNDは、内部回路にて絶縁されています。



■ デジタル出力回路

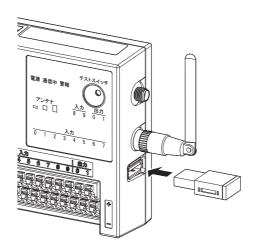
汎用出力機器を接続する場合は、下記の回路図を参考にしてください。



■||7. 環境センサについて

USBコネクタにUSB型環境センサ(オムロン製 形 2JCIE-BU01)を接続することにより、温度、湿度、照度、気圧、騒音、加速度、eTVOCの監視が可能になります。

- ・接続の際は必ずACプラグをコンセントから抜くか給電元ブレーカーをOFFにし、 停電通報用内部電池も取り外してください。 (通電状態で接続した場合は機能しません)
- ・別売のフィルタキャップ (オムロン製 形 2JCIE-BU01-FL1) も併せてご使用ください。
- ・環境センサ、フィルタキャップをお求めの際は、「お問い合わせ先」(**⇒P.23**参照) までご連絡ください。



■ 8. 廃棄方法と電池のリサイクル

■ 廃棄方法

本機および付属品を廃棄する場合は、次のとおり処理してください。

□本機および付属品

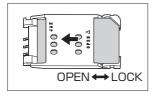
本機からUIMカードと停電通報用内部電池を取り外し、各地方自治体の指示に従って処理してください。

□UIMカード

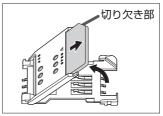
本機のUIMカードコネクタには、LTEデータ通信UIMカードが挿入されています。 このカードの所有権は株式会社NTTドコモにあります。廃棄時には当社にご返却ください。

<UIMカードの取り外し方>

① カバー部をOPEN△方向に スライドさせます。



②カバー部を起こして カードを抜き取ります。



※ UIMカードをセットする場合は、カードの 挿入方向にご注意ください。 カードをカバー部に挿入後、カバー部を 閉めた状態でOPEN△と逆の方向に スライドさせることでロックが完了します。

■ 雷池のリサイクルについて

本機に使用している停電通報用内部電池(ニッケル水素電池)はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池はリサイクルへご協力ください。



不要になった電池は、貴重な資源を守るために 廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へ お持ちください。

交換用の停電通報用内部電池のお求めの際は、「お問い合わせ先」(**⇒P.23**参照)まで で連絡ください。



■ 9. よくある質問 (FAQ)

代表的なご質問について記載しています。

ご質問	回答
ときどき警報ランプが点滅します。	電源ON後4分間程度は点滅することがありますが、故障ではありません。それ以上続く場合は、LTE通信ができていない可能性がありますので、電波状況が良くなるように本機の取り付け位置を調節してください。
携帯電話では十分な電波強度を 示しているのに、本機のLTE通 信がうまくできません。	電波の状態を調査する必要がありますので、「M2M コールセンタ」(⇒P.23 参照)へご連絡ください。
アンテナランプが点灯したり、 消灯したり、するのはなぜです か。	電波強度が変動しています。ランプが頻繁に1~2個の 点滅になるようであれば、電波状況の良い場所に設置 したアンテナを接続してください。
配線したのに入力ランプが点灯 しません。	M2Mセンタの端末設定で、入力が動作する設定になっているか確認してください。
テストスイッチを押したのにメ ールが届きません。	以下の設定を通報先設定画面で確認してください。 ・メールアドレス、通信時間帯、曜日が正しいいか。 ・「テストスイッチ」または「システムイベント」が チェックされているか。 携帯電話等の迷惑メール防止機能が有効になっていれ ば解除してください。
USB端子に指定の環境センサ以外を接続することができますか。	他のUSB機器は接続できません。 指定の環境センサ以外は接続しないでください。
動作中に信号ケーブルを抜き差しするとどうなりますか。	故障の可能性が皆無ではないので、お勧めできません。 ACプラグをコンセントから抜くか給電元ブレーカーを OFFにし、停電通報用内部電池も取り外した状態での配 線作業をお願いします。

■||10. 保証とアフターサービス

■ 保証内容

1保証期間

本機の保証期間は、ご購入後またはご指定場所に納入後1年といたします。

②保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により本機に故障が生じた場合は、代替品の提供を本機の 購入先(代理店等)において無償で実施いたします。

(設置現場での交換・修理対応は含まれません。)

但し、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象外といたします。

- a) 本書に記載されている以外の条件、環境でご使用の場合
- b) 本機以外の原因による場合
- c) 当社以外による改造または修理による場合
- d) 本機本来の使い方以外の使用による場合
- e)本機出荷時の科学・技術水準では予見できなかった原因による場合
- f)天災、火災など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、本機単体の保証を意味するもので、本機の故障で誘発される 損害は保証の対象から除かれるものとします。

■ 責任の制限

本機に起因して生じた特別損害、間接損害または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

■ オプション品

オプション品をお求めの際は、「お問い合わせ先」(⇒P.23参照)までご連絡ください。

- ・電源ケーブル (ケーブル長1,500mm、2Pプラグ付)
- ・取付プレートセット(取付プレート、両面テープ、木ねじ)
- ・ポールアンテナ(タオグラス社製 TG.09.0113)
- ・外部アンテナ(タオグラス社製 G30.B.108111 ケーブル長2.000mm)
- ・環境センサ(オムロン製 形 2JCIE-BU01)
- ・環境センサ用フィルタキャップ(オムロン製 形 2JCIE-BU01-FL1)

■||11. 主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

【本体】

項目		仕様	備考	
アナログ入力 (入力0~1)	接点数	非絶縁 2点(ペアGND 接点)	個別にデジタル入力への切り替え可能	
	計測範囲	電流計測モード:0~20mA	入力インピーダンス:250Ω	
	可测型进	電圧計測モード:0~5V	入力インピーダンス:2MΩ	
	測定精度	±1.0%FS (周囲温度23±5℃)		
	分解能	16bit	測定間隔:10ms以上	
	接点数	非絶縁 8点(ペアGND 接点)		
	接続先条件	無電圧接点、またはオープンコレクタ		
デジタル入力	入力方式	Source 型入力		
(入力0~7)		ON 電圧: 2.0V以上		
	検出範囲	OFF 電流:0.1mA以下		
		パルス幅: 10ms以上	[入力方式]	
	接点数	絶縁 2点	パルス入力:ON時間積算、パルス積算	
	接続先条件	有電圧接点(DC15V以下)	イベントトリガ入力(ON/OFF変化)	
	入力方式	フォトカプラ入力	サンプリング周期:5ms	
デジタル入力 (入力8~9)	検出範囲	ON電圧: DC10V~DC15V (入力抵抗1.2kΩ、逆接保護ダイオード、 漏れ電流対策抵抗330Ω付き)		
		ON電流:4mA以上、OFF電流:2mA以下		
		パルス幅:10ms以上		
	接点数	オープンコレクタ出力 2点(ペアGND 接点)		
 デジタル出力	最大負荷電圧	DC30V	[出力方式] パルスルー:入力をそのまま出力 センタ連動:センタ指示内容の出力 警報連動:機器警報時に出力	
(出力0~1)	最大負荷電流	100mA/1点、120mA/2点		
(M))0 1)	ON 時残留電圧	1.0V以下		
	OFF 時漏れ電流	0.1 mA以下		
電流 附加	停電検知	ACOV 1s以上	- 2次側回路電圧で監視	
電源監視	復電検知	AC90V以上		
	テスト通報	テストスイッチ押下時に通報		
	定期通報	通報間隔:1~24時間(1時間単位で設定)		
通報	停電通報	停電時に1回通報	内部電池で駆動	
	送信先設定	M2Mセンタで設定	複数設定可	
	停電時動作	時間保証なし(停電通報のみ保証)	新品電池、満充電時	
	通信網	NTTドコモ LTE網		
	プロトコル	TCP · IPv4		
通信	速度	上り 128kbps、下り 128kbps		
	規格	LTE カテゴリー1		
	アンテナ	アンテナ端子:SMA×2		
口グ機能	7.7.11	CPU内部SRAM: 348kB	リングメモリ(上書き)	
	メモリ	CPU外付け FRAM: 64kB	リングメモリ(上書き)	
	記録項目	エラー履歴(時刻付き)		
外部 I/F	USB 2.0	TypeA (host), 200mA (MAX)	環境センサ 形 2JCIE-BU01 接続可	

11. 主な仕様 (つづき)

項目 仕様		備考	
電源電圧	AC100~200V±10% 50/60Hz		
消費電力	15W以下 (AC100V)		
ヒューズ	AC250V 3A	非交換タイプ、機器内部に2個搭載	
使用環境	-20~60℃、40~90%RH	内部電池の充電は、−10℃以上	
保存環境	-35~70℃、40~90%RH	内部電池は、−20~35℃(1年以内)	
外形寸法	W155×H86×D33.7mm	アンテナ端子を含まず	
質量	0.3kg 以下	電池を含まず	
設置方法	壁面または取付プレート上にマグネット吸着にて取り付け		

【付属品】

品名	型名/規格	仕様	備考
停電通報用内部電池	BAT-N002(本機専用品)	Ni-MH二次電池(500mAh)	
UIMカード	ドコモ UIMカード	LTEデータ通信カード(標準サイズ)	本体に装着済
ポールアンテナ	タオグラス社製 TG.09.0113	直径:10mm、長さ:75mm	
アンテナ端子キャップ	(本機専用品)	材質:シリコーンゴム(ブラック)	本体に装着済
USBコネクタキャップ	(本機専用品)	材質: PP (グレー)	本体に装着済

■ 12. お問い合わせ先

本機についてご不明な点は下記にお問い合わせください。

M2Mコールセンタ: 0120-053-606

受付時間:9:30~12:15/13:00~17:30(土・日・祝日を除く)

お電話の前に、以下の情報をご用意ください。特に本機のID番号またはシリアル番号は必ず必要ですので、事前にご確認ください。

ID番号、シリアル番号は本機に貼り付けられている製品ラベルに記載されています。

- (1) 本機のID番号またはシリアル番号
- (2) 本機の型名 (AMT300またはFMT300)
- (3) トラブルが発生する前または直前に行った操作
- (4) トラブルがどれくらいの頻度で発生するか
- (5) その他、お気づきの点など

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル7階

■ 電話番号 0120-053-606

ホームページ https://www.allwatch.jp

<おことわり>

- (1) 本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- (2) 本機(付属品を含む)の仕様、および本書内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書に記載しているイラストは実機と若干の相違がある場合があります。
- (4) 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの 点がありましたら、お手数ですが上記のお問い合わせ先までご連絡ください。

<著作権・商標について>

- ・本文中に掲載しているシステム名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の著作権は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社に帰属します。